

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 6 年 7 月 16 日(2024.7.16)

【公開番号】特開 2022-165520(P2022-165520A)  
【公開日】令和 4 年 11 月 1 日(2022.11.1)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-201  
【出願番号】特願 2021-70885(P2021-70885)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 7 月 5 日(2024.7.5)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

20

識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報がリーチ状態となった後に、前記有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段と、

前記リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、前記有利状態に制御されることを示唆する変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

前記変化演出が実行されることを、前記変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

30

前記示唆演出実行手段は、前記変化演出の対象となる演出が特定可能な態様にて、示唆演出を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、

前記示唆演出が実行されない場合であっても前記変化演出を実行可能であり、

第 1 変化演出と、前記第 1 変化演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高くかつ実行割合が低い第 2 変化演出とを含む複数種類の前記変化演出を実行可能であり、

前記示唆演出および前記第 2 変化演出が実行される場合に、前記示唆演出によって前記第 2 変化演出を示唆しない割合よりも、前記第 2 変化演出を示唆する割合のほうが高く

40

前記リーチ演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出のいずれかを実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、第 1 種類のリーチ演出が実行されているときと、第 2 種類のリーチ演出が実行されているときと、に共通態様の前記変化演出を実行可能であり、

前記リーチ演出実行手段は、前段リーチ演出と、該前段リーチ演出が実行された後に実行される特別リーチ演出と、を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記特別リーチ演出が実行されているときに、前記変化演出を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、

識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報がリーチ状態となった後に、前記有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出を実行可能なリーチ演出実行手段と、

前記リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、前記有利状態に制御されることを示唆する変化演出を実行可能な変化演出実行手段と、

前記変化演出が実行されることを、前記変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、

前記示唆演出実行手段は、前記変化演出の対象となる演出が特定可能な態様にて、示唆演出を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、

前記示唆演出が実行されない場合であっても前記変化演出を実行可能であり、

第1変化演出と、前記第1変化演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高くかつ実行割合が低い第2変化演出とを含む複数種類の前記変化演出を実行可能であり、

前記示唆演出および前記第2変化演出が実行される場合に、前記示唆演出によって前記第2変化演出を示唆しない割合よりも、前記第2変化演出を示唆する割合のほうが高く、

—

前記リーチ演出実行手段は、前記有利状態に制御される割合が異なる複数種類のリーチ演出のいずれかを実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、第1種類のリーチ演出が実行されているときと、第2種類のリーチ演出が実行されているときと、に共通態様の前記変化演出を実行可能であり、

前記リーチ演出実行手段は、前段リーチ演出と、該前段リーチ演出が実行された後に実行される特別リーチ演出と、を実行可能であり、

前記変化演出実行手段は、前記特別リーチ演出が実行されているときに、前記変化演出を実行可能である、

ことを特徴とする。

他の遊技機は、識別情報（例えば、飾り図柄）の可変表示を実行し、遊技者にとって有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機であって、識別情報がリーチ状態となった後に、有利状態に制御されることを示唆するリーチ演出（例えば、スーパーリーチ）を実行可能なリーチ演出実行手段と、リーチ演出が実行されているときに、当該リーチ演出における演出の一部の態様を変化させることによって、有利状態に制御されることを示唆する変化演出（例えば、タイトル表示や字幕表示、飾り図柄、カットイン表示の表示色を通常色（白）から青色や緑色、赤色、金色に変化させるチャンスアップ演出、バトル演出において敗北状態から勝利状態に変化させるチャンスアップ演出（復活）など）を実行可能な変化演出実行手段と、変化演出が実行されることを、変化演出が実行されるよりも前に示唆する示唆演出（例えば、ストック演出）を実行可能な示唆演出実行手段と、を備え、変化演出実行手段は、示唆演出によって示唆された演出及び示唆演出によって示唆されていない演出を対象に変化演出を実行可能であり（例えば、ストック演出を経ない非鍵チャンスアップ演出を実行可能である）、示唆演出実行手段は、変化演出の対象となる演出が複数あることを示唆する態様（例えば、囲い文字表示「二人の死闘」や「掃討作戦」が付された鍵画像や、囲い文字表示「タイトル」や「字幕」、「図柄」、「カットイン」、「復活」が付された鍵画像を表示する）にて示唆演出を実行可能であり、リーチ演出において複数回変化演出が実行される場合に、示唆演出によって示唆する該変化演出

10

20

30

40

50

の対象となる演出の数よりも、示唆演出によって示唆しない該変化演出の対象となる演出の数のほうが少ないように示唆演出を実行する（例えば、ストック演出により２つのチャンスアップ演出（鍵チャンスアップ演出）が示唆された場合には、ストック演出に示唆されることなく実行されるチャンスアップ演出（非鍵チャンスアップ演出）は２未満である）。

そのような構成により、示唆演出が実行されない場合にも変化演出が実行されることに期待を持たせることができるとともに、示唆演出によって示唆されることなく実行される変化演出の数が多くなりすぎて示唆演出自体の存在価値が低下してしまうことを防止することができる。

10

20

30

40

50